

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」スキーム評価調査

目次

はしがき

第1章 評価調査の概要	1
1-1 評価調査の背景	1
1-2 評価調査の目的	1
1-3 スキーム評価の対象	1
1-4 スキーム評価の枠組み	2
1-5 スキーム評価の方法	7
1-6 本報告書の構成	8
1-7 評価チームの実施体制	9
1-8 調査の制限	9
第2章 「草の根・人間の安全保障無償資金協力」スキームの概要	10
2-1 草の根・人間の安全保障無償資金協力の内容と仕組み	10
2-2 スキーム拡充の推移	14
2-3 「草の根・人間の安全保障無償資金協力」スキームの比較優位性	17
第3章 「草の根・人間の安全保障無償資金協力」スキームの政策的枠組み	20
3-1 「人間の安全保障」理念の強化がスキームに反映されるまでの経緯	20
3-2 スキームの方針と日本の上位計画との整合性	24
3-3 「人間の安全保障」実現に向けた援助アプローチのスキームへの反映	26
3-4 スキームの政策的枠組みに関する評価	27
3-5 スキームの目標体系図	28
第4章 「草の根・人間の安全保障無償資金協力」の実績と動向	31
4-1 案件数および供与額の実績	32
4-2 被供与団体別の実績・動向	35
4-3 課題別目標の実績・動向	36
4-4 分野別の実績・動向	39
第5章 在外公館の実施体制	43
5-1 調査方法	43
5-2 在外公館における取扱い件数と人員体制	44
5-3 運用手続き及び案件の発掘・選定	49
5-4 連携協力の取組み	52
5-5 モニタリング及びフォローアップ	58
5-6 紛争後の平和構築プロセスにある在外公館における本スキーム実施体制	60
第6章 ケーススタディ	64
6-1 ガーナ国	64
6-2 ナイジェリア国	90
第7章 総合評価	111
7-1 「目的」の妥当性	111
7-2 「結果」の有効性	112
7-3 「プロセス」の適切性	117
7-4 総括	120
第8章 効果的なスキーム運用のための提言	121
8-1 選定プロセス簡素化による効率性の確保	121
8-2 申請団体の実施能力を効率的に確認する方法	121
8-3 現地ODAタスクフォースの有効活用による実施プロセスの効率化	123
8-4 本スキーム実施によって高い援助効果を得るための方策	123
8-5 実施案件中のモニタリング及びフォローアップを強化するための提言	125
8-6 効果的なスキーム運営のための提言	126
8-7 中・長期的な視野に立った実施体制の整備	126

別添